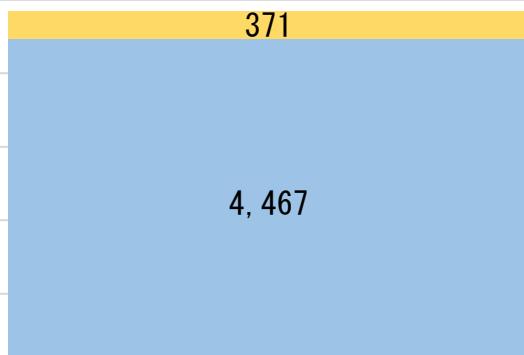


血液培養 2 セット実施率

◆ 92.33%



2024年度

■ 血培オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数 ■ 血培オーダーが 1 日に 2 件未満の日数 ◆ 実施率

■ 定義

$$\frac{\text{血液オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数}}{\text{血液培養オーダー日数}} \times 100 = \text{血液培養 2 セット実施率}$$

■ 指標の解説

血液培養検査は 1 セットの検査では原因菌を特定することが限られ、2 セット採取した場合には 1 セットの場合と比べて約 30%近く検出率は向上すると言われています。1 セット検査で皮膚常在菌が検出された場合には、検出菌が菌血症の真の原因菌なのか、検体採取時の汚染によるものか判定が困難です。血流感染症の適切な感染症診断が実施されているか評価します。

■ 改善活動

Plan

血液培養 2 セット実施率が全国の大学病院の平均である 94%を上回る。

(活動計画)

血液培養 2 セット実施率のモニタリングおよびフィードバックする。

Do

- ・血液培養 2 セット実施率のモニタリングし、感染対策委員会で院内へフィードバックした。
- ・血液培養 2 セット実施率を分析し、実施率が低値あるいは低下傾向である診療科の医師に対し直接 2 セット実施の遵守を求めた。また、特定の診療科（血液腫瘍内科）については監視培養において 2 セット実施率が低く、2 セットの遵守とともに検査の頻度の点で必要性の見直しを求めた。

(下半期)

引き続き血液培養 2 セット実施率を監視し必要に応じて介入する。

(年度末)

・PDCA サイクルを活用しての取り組みは今年度で終了となる。来年度は必要時のみ該当部署へ介入し目標値を達成できるよう監視していく。

(上半期)

- ・血液腫瘍内科については、末梢血管からの採取が困難な例があり 2 セット実施の遵守は困難との回答を得た。
- ・他の診療科については、随時医師へフィードバックを実施し改善を図っている。

(年度末)

・1 月に感染対策マネージャー会議で啓発を行い、2 月より血液腫瘍内科の 2 セット率の改善が見られ、全体の 2 セット率が改善した。

Check

Action